

令和6年7月18日

## 中国地域の経済動向

(令和6年5月の指標を中心に)

～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

中国地域の経済は、生産は緩やかな持ち直しの動きがみられる、個人消費は持ち直しの動きに足踏み感がみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前月比で減少など、全体として、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

### ■項目別の動向

1. 生産動向・・・緩やかな持ち直しの動きがみられる

別添 中国地域鉱工業生産動向参照

2. 個人消費・・・持ち直しの動きに足踏み感がみられる

別添 中国地域百貨店・スーパー販売動向参照

3. 雇用・・・有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前月比で減少

4. 景況感・・・現状は前月に比べ低下、先行きは上昇

5. 貿易・・・輸出、輸入ともに前年同月比で増加

6. 建設動向・・・公共工事は前年同月比で増加、住宅建設は前年同月比で減少

7. 企業倒産・・・件数は前年同月比で増加、負債総額は前年同月比で減少

8. 設備投資・・・2024年度計画は前年度を上回る見込み

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。  
※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

(本発表資料のお問合せ先)

総務企画部企画調査課長 腰本 和輝

電話: 082-224-5633

メール: [bzi-chugoku-chosa@meti.go.jp](mailto:bzi-chugoku-chosa@meti.go.jp)

1. 生産動向 ～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

(中国地域鉱工業生産動向 2024年5月 速報)

2024年5月の鉱工業生産指数は109.0、前月比3.8%の上昇となった(2020年=100、季節調整済)。出荷は上昇、在庫は上昇、在庫率は低下となった。

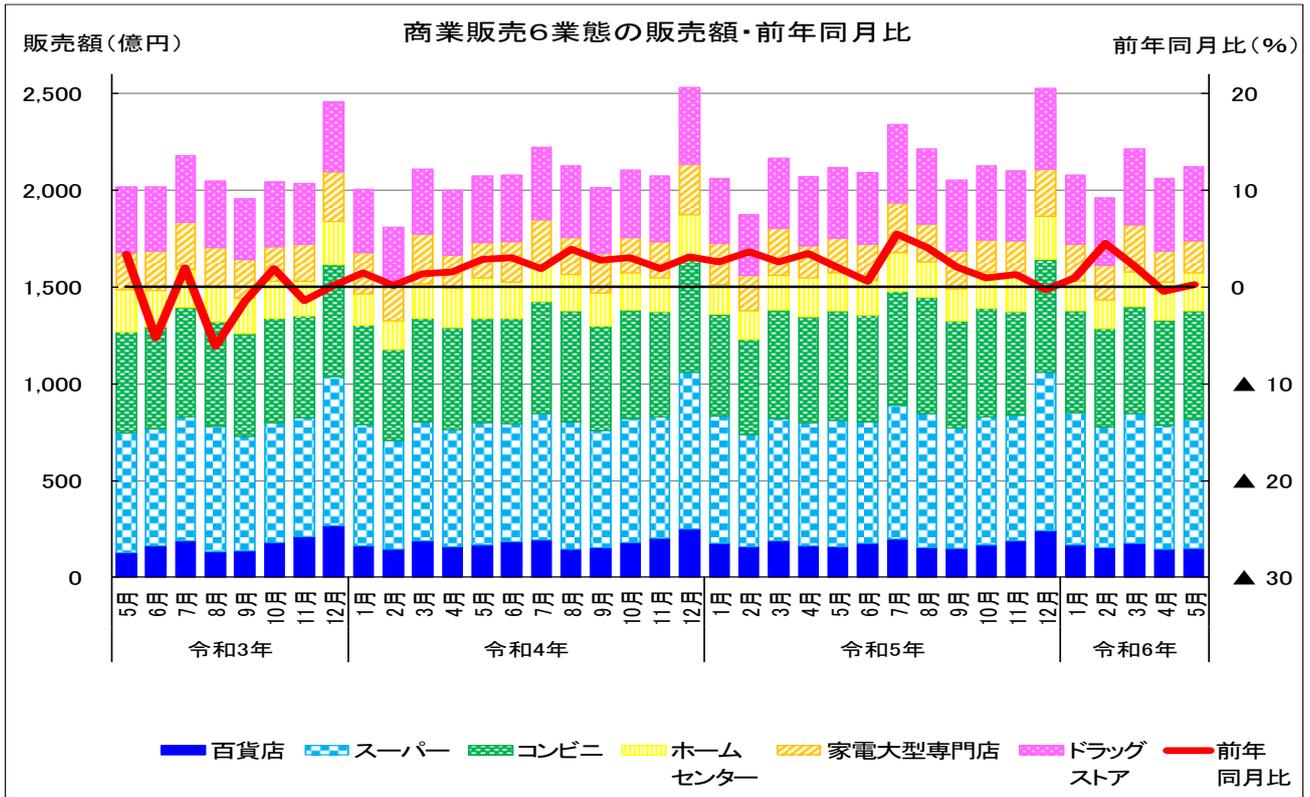
2. 個人消費 ～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

5月の商業6業態の販売額は2,122億円で、前年同月比0.2%と2か月ぶりに前年を上回った。

5月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車全てが前年同月を下回り、合計では前年同月比▲9.1%と5か月連続で前年を下回った。また、5月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比2.5%の上昇となった。

(1)商業6業態(5月)

		(百万円)			(全店舗、%)
(6業態における構成比)		販売額	前年同月比		(前月の前年同月比)
<b>6業態</b>		<b>212,228</b>	0.2	2か月ぶり プラス	( ▲ 0.4 )
<b>百貨店・スーパー</b>		<b>81,413</b>	0.1	2か月ぶり プラス	( ▲ 1.4 )
百貨店	( 7.0% )	14,865	▲ 5.2	9か月連続 マイナス	( ▲ 10.4 )
スーパー	( 31.4% )	66,548	1.3	23か月連続 プラス	( 0.9 )
<b>コンビニエンスストア</b>		<b>56,212</b>	▲ 0.3	3か月連続 マイナス	( ▲ 1.3 )
<b>ホームセンター</b>		<b>19,879</b>	0.4	3か月ぶり プラス	( ▲ 0.3 )
<b>家電大型専門店</b>		<b>16,241</b>	▲ 7.6	2か月連続 マイナス	( ▲ 3.0 )
<b>ドラッグストア</b>		<b>38,483</b>	5.0	29か月連続 プラス	( 4.2 )



- ・百貨店の販売額は149億円で、前年同月比▲5.2%と9か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は665億円で、前年同月比1.3%と23か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は562億円で、前年同月比▲0.3%と3か月連続で前年を下回った。
- ・ホームセンターの販売額は199億円で、前年同月比0.4%と3か月ぶりに前年を上回った。
- ・家電大型専門店の販売額は162億円で、前年同月比▲7.6%と2か月連続で前年を下回った。
- ・ドラッグストアの販売額は385億円で、前年同月比5.0%と29か月連続で前年を上回った。

(単位:百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
令和3年	206,944	0.4	14	748,101	▲ 0.7	325	636,344	3.0	3,067
令和4年	213,575	3.2	13	763,978	2.1	328	651,000	2.6	3,065
令和5年	211,271	▲ 1.1	13	793,196	3.8	328	665,865	2.3	3,066
令和5年5月	15,676	▲ 6.5	13	65,687	4.0	329	56,362	4.5	3,066
6月	17,528	▲ 5.8	13	62,939	3.5	329	55,013	0.9	3,065
7月	19,613	0.9	13	69,211	6.4	329	59,187	1.9	3,068
8月	15,318	5.3	13	69,531	5.9	329	59,690	3.5	3,071
9月	14,996	▲ 2.2	13	62,347	3.1	328	55,055	1.7	3,071
10月	16,841	▲ 6.8	13	65,900	3.1	327	56,389	0.6	3,071
11月	18,915	▲ 5.8	13	64,686	2.9	327	53,689	▲ 1.1	3,068
12月	23,965	▲ 4.7	13	82,080	1.6	328	58,103	▲ 0.8	3,066
令和6年1月	16,885	▲ 3.4	13	68,123	3.6	328	52,813	0.0	3,061
2月	15,428	▲ 3.2	12	62,137	7.2	327	50,948	4.2	3,053
3月	17,801	▲ 5.2	12	66,740	5.1	328	55,301	▲ 1.0	3,050
r 4月	14,527	▲ 10.4	12	64,139	0.9	328	54,118	▲ 1.3	3,050
p 5月	14,865	▲ 5.2	12	66,548	1.3	329	56,212	▲ 0.3	3,045

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
令和3年	226,860	▲ 2.1	402	250,866	▲ 3.6	177	392,184	0.5	898	2,461,299	0.1
令和4年	224,042	▲ 1.2	403	247,359	▲ 1.4	181	415,822	6.0	971	2,515,776	2.3
令和5年	219,575	▲ 2.0	403	241,928	▲ 2.2	177	442,477	6.4	1,015	2,574,312	2.3
令和5年5月	19,802	▲ 5.1	401	17,569	▲ 3.5	180	36,642	5.6	988	211,739	2.0
6月	17,804	▲ 4.0	401	18,998	▲ 8.6	180	36,887	6.6	992	209,169	0.6
7月	19,699	4.6	402	25,717	10.8	180	40,771	8.9	997	234,198	5.4
8月	18,284	▲ 1.6	402	19,622	1.8	180	39,045	5.4	1,000	221,490	4.1
9月	16,574	▲ 2.9	401	19,908	▲ 1.1	180	36,474	7.2	1,000	205,355	2.1
10月	18,764	▲ 3.8	401	16,545	▲ 8.2	179	38,238	9.3	1,004	212,677	1.0
11月	17,903	1.7	402	18,666	▲ 0.6	178	36,148	7.1	1,011	210,006	1.3
12月	22,340	▲ 2.9	403	24,505	▲ 6.0	177	41,528	4.7	1,015	252,521	▲ 0.3
令和6年1月	15,093	▲ 2.0	402	19,360	▲ 8.1	176	35,731	6.9	1,015	208,005	1.0
2月	14,976	0.7	402	17,899	▲ 3.7	176	34,691	10.9	1,018	196,079	4.5
3月	17,971	▲ 0.8	403	24,593	1.9	176	38,804	7.4	1,025	221,210	2.2
r 4月	19,954	▲ 0.3	403	16,112	▲ 3.0	176	37,411	4.2	1,027	206,261	▲ 0.4
p 5月	19,879	0.4	403	16,241	▲ 7.6	176	38,483	5.0	1,029	212,228	0.2

注1: p は速報値、rは確報値。ただし、令和5年分は年間補正值。

注2: 百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3: 表中の数値は全店ベースの数値。

注4: 令和3年3月分から調査対象事業所の見直しを行ったため、コンビニエンスストアについては令和3年2月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じている。したがって、コンビニエンスストアの令和3年2月分以前の月間販売額などにリンク係数を乗じたものが令和3年3月分以降と接続する。

参考：広島市の気温

対平年+ 0.0 °C 対前年▲ 0.3 °C

★★令和6年5月の動き（各店舗の声から）★★

【百貨店】

朝晩と日中の気温差により夏物の動きが鈍かった婦人服が低調だったほか、ラグジュアリーブランドのハンドバッグ、靴が低調だった。また、食料品はキャベツなどの野菜や鮮魚といった生鮮食品が価格上昇により低調だったが、物産展などの催事は好調だった。

【スーパー】

キャベツやブロッコリーなどの野菜、米が相場高により増加した。また、大型連休や母の日は大パックの寿司や刺身などのパーティーメニューが好調だった。一方、朝晩の気温差により夏物の買い換えが進まなかった衣料品が低調だった。

【コンビニエンスストア】

価格上昇により弁当や麺類、総菜が低価格帯のおにぎりやパンに流れて低調だったほか、冷凍食品が振るわなかった。一方、デザートが新商品や販売促進効果により好調だった。

【ホームセンター】

価格上昇により紙製品や介護用品などの日用消耗品が増加した。また、用土や肥料などに動きがみられた園芸用品も好調だった。一方、インテリア用品、収納用品といった耐久財が物価高による節約志向の高まりにより低調だった。

【家電大型専門店】

販売価格の高い新型モデルが敬遠されたテレビ、冷蔵庫が低価格商品にシフトしたことにより売上が減少した。また、前月気温高により需要が前倒しになったエアコンが低調だった。

【ドラッグストア】

米などの食品が価格上昇により引き続き増加したほか、日焼け止めやパックなどの化粧品が好調だった。また、調剤薬局を併設した店舗の増加により、引き続き調剤医薬品が好調だった。一方、コロナ検査キット、マスクが低調だった。

(2)乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2021年	2022年	2023年	2023年	2024年	2024年				
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
乗用車新車登録・届出数	中国	▲ 4.4	▲ 5.9	15.5	13.5	6.2	▲ 21.7	▲ 22.2	▲ 23.4	▲ 13.3	▲ 9.1
	普通乗用車							▲ 11.6	▲ 13.1	▲ 3.8	▲ 2.1
	小型乗用車							▲ 39.4	▲ 43.1	▲ 12.3	▲ 6.1
	軽乗用車							▲ 22.9	▲ 22.2	▲ 22.4	▲ 16.7
	全国	▲ 3.5	▲ 6.2	15.8	13.9	10.3	▲ 16.1	▲ 16.3	▲ 19.6	▲ 10.7	▲ 3.9

(資料 中国運輸局)

(3)消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)

(2020年基準・前年同月(期)比%)

		2021年	2022年	2023年	2023年	2024年	2024年				
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
消費者物価指数	中国	▲ 0.2	2.4	3.1	2.9	2.2	2.1	2.4	2.2	1.8	2.5
	全国	▲ 0.2	2.3	3.1	3.0	2.5	2.5	2.8	2.6	2.2	2.5

(資料 総務省)

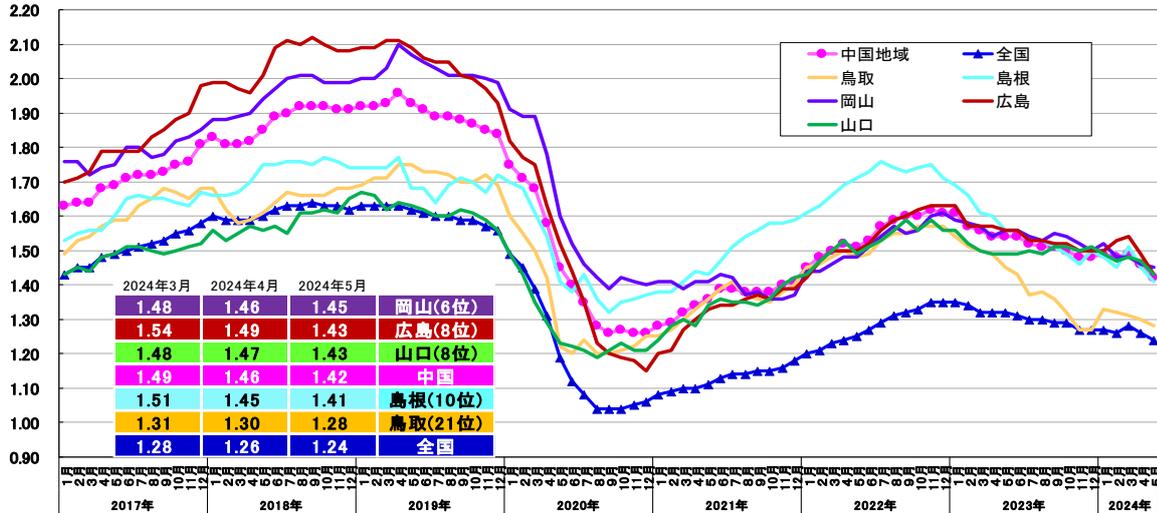
3. 雇用 ～有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前月比で減少～

5月の有効求人倍率は、1.42倍で前月の値を0.04ポイント下回り、2か月連続の低下となった。また、新規求人数(季節調整値)は、前月比▲1.6%で2か月連続の減少となった。

(季節調整値)※1		2021年	2022年	2023年	2023年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
有効求人倍率	中国	1.36	1.55	1.53	1.51	1.49	1.49	1.48	1.49	1.46	1.42
	全国	1.13	1.28	1.31	1.29	1.28	1.27	1.26	1.28	1.26	1.24
新規求人倍率	中国	2.38	2.66	2.58	2.56	2.55	2.57	2.47	2.68	2.44	2.29
	全国	2.02	2.26	2.29	2.28	2.25	2.31	2.26	2.38	2.17	2.16
新規求人数	中国	57,541	63,735	62,266	61,967	61,397	60,747	59,969	62,007	57,012	56,121
	全国	781,572	866,369	866,937	858,571	852,638	857,232	863,715	857,912	822,448	829,239
上段:人 下段:前月(年・期)比%	中国	2.3	10.8	▲2.3	▲0.7	▲0.9	▲1.1	▲0.5	3.4	▲8.1	▲1.6
完全失業率※2	中国	4.1	10.8	0.1	▲0.7	▲0.7	0.5	1.6	▲0.7	▲4.1	0.8
	全国	2.4	2.2	2.1	1.9	2.1	2.1	—	—	—	—
	全国	2.8	2.6	2.6	2.6	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6

(資料:厚生労働省、総務省)

有効求人倍率の推移 (2024年5月現在)



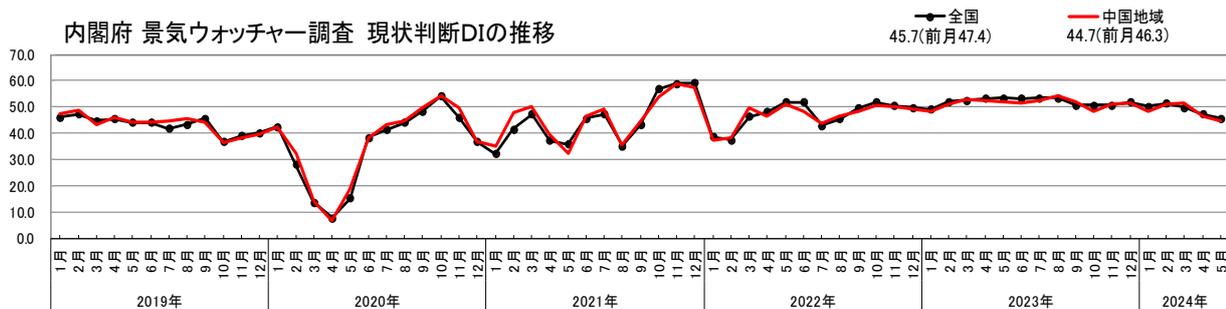
(資料:厚生労働省)

4. 景況感 ～現状は前月に比べ低下、先行きは上昇～

内閣府の景気ウォッチャー調査(令和6年5月調査結果)によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の状態に対する判断DI(方向性)は44.7となり、前月差1.6ポイントの低下となった。

2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは46.0となり、同0.2ポイントの上昇となった。

内閣府 景気ウォッチャー調査 現状判断DIの推移



(資料:内閣府)

※1 年は原数値。年、四半期は平均。中国地域の年、四半期の平均は当局にて算出。

※2 年、四半期は原数値。

5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で増加～

5月の輸出は、前年同月比15.4%と4か月連続で前年を上回った。品目別では、自動車、有機化合物などが前年を上回った。地域別では、北米、アジア向けなどが前年を上回った。

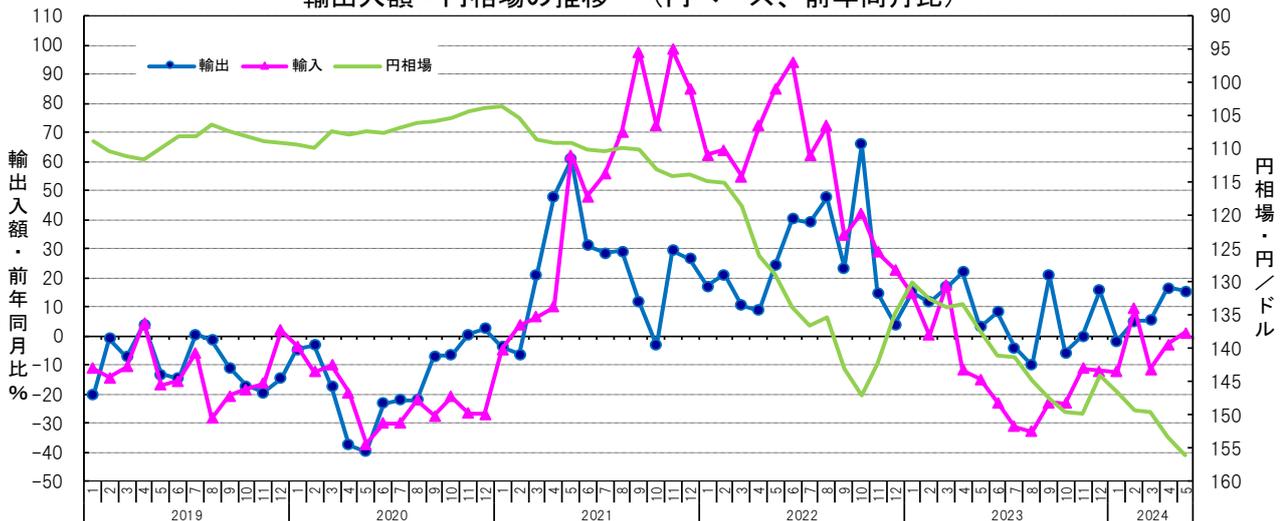
5月の輸入は、前年同月比1.0%と3か月ぶりに前年を上回った。品目別では、金属鉱及びびくず、天然ガス及び製造ガスなどが前年を上回った。

(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)<sup>※4</sup>

			2021年	2022年	2023年	2023年		2024年	2024年			
						7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
輸出	総合	中国地域	20.3	25.3	6.9	1.3	2.8	3.1	5.2	5.3	16.6	15.4
		全国	21.5	18.2	2.8	1.1	3.7	8.8	7.8	7.3	8.3	13.5
		自動車(中国地域) <sup>※3</sup>	12.7	18.9	34.2	/	/	/	▲3.1	▲2.2	32.5	56.4
		鉄鋼(中国地域) <sup>※3</sup>	49.7	36.3	▲12.9	/	/	/	3.4	▲4.1	▲4.1	2.0
	輸入	総合	中国地域 <sup>※3</sup>	46.7	55.1	▲14.1	▲29.4	▲15.6	▲6.0	9.4	▲11.6	▲3.0
全国 <sup>※3</sup>			24.8	39.6	▲7.0	▲16.1	▲10.4	▲5.0	0.6	▲5.1	8.4	9.5
		原粗油(中国地域) <sup>※3</sup>	83.2	79.0	▲23.4	/	/	/	45.9	▲39.8	▲31.2	▲35.5
		石炭(中国地域) <sup>※3</sup>	71.7	182.5	▲21.8	/	/	/	▲32.2	▲33.6	▲19.5	▲12.5
為替 <sup>※5</sup>		円/ドル	109.80	131.38	140.48	144.55	147.81	148.54	149.42	149.63	153.43	156.13

(資料：財務省、日本銀行)

輸出入額・円相場の推移 (円ベース、前年同月比)



<sup>※3</sup> 月次は速報値。

<sup>※4</sup> 数値は確報、確々報、確定報により修正されることがある。

<sup>※5</sup> 為替は東京インターバンク相場(スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～公共工事は前年同月比で増加、住宅建設は前年同月比で減少～

5月の中国地域の公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、県、市町村、その他公共的団体すべてで前年を上回った。合計では前年同月比96.3%と2か月連続で前年を上回った。

5月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、給与住宅、分譲住宅すべてで前年を下回った。合計では前年同月比▲16.7%と2か月ぶりに前年を下回った。

(前年同月(期)比%)

		2021年度	2022年度	2023年度	2023年	2024年	2024年				
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
公共工事請負金額	中国	▲ 4.8	▲ 0.3	8.8	12.4	17.5	4.6	▲ 2.6	▲ 3.2	29.2	96.3
	全国	▲ 8.6	▲ 0.4	5.3	1.3	8.3	5.2	▲ 0.7	6.2	18.8	12.3
新設住宅着工戸数 <sup>※6</sup>	中国	9.4	▲ 0.3	▲ 12.4	▲ 13.9	▲ 12.9	▲ 15.6	▲ 24.1	▲ 14.6	5.5	▲ 16.7
	全国	6.6	▲ 0.6	▲ 7.0	▲ 7.7	▲ 6.3	▲ 9.6	▲ 8.2	▲ 12.8	13.9	▲ 5.3

(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証(株)広島支店)、

「同(全国)」(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株))

「新設住宅着工戸数」(国土交通省)

7. 企業倒産 ～件数は前年同月比で増加、負債総額は前年同月比で減少～

5月の企業倒産件数は52件で、前年同月比48.6%と13か月連続で前年を上回った。また、負債総額は58億3,500万円で、前年同月比▲15.7%と2か月連続で前年を下回った。

業種別にみると、サービス業他が19件、小売業が11件、建設業が8件、製造業が6件、農林漁鉱業が5件などとなった。

原因別にみると、販売不振が46件などとなった。

(前年同月(期)比%)

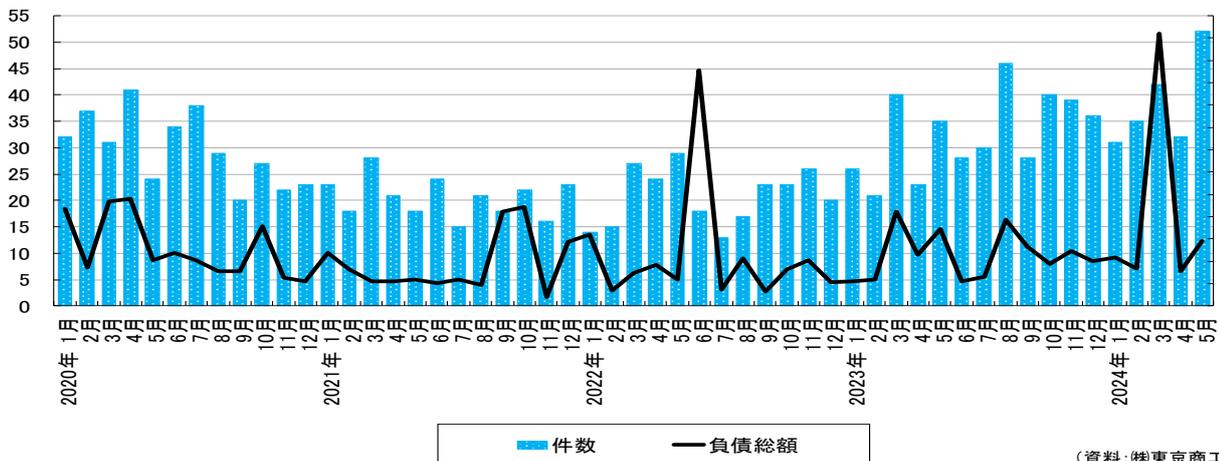
		2021年	2022年	2023年	2023年	2024年	2024年				
					7-9月	10-12月	1-3月	2月	3月	4月	5月
企業倒産件数	中国	▲ 31.0	0.8	57.4	96.2	66.7	24.1	66.7	5.0	39.1	48.6
	全国	▲ 22.4	6.6	35.2	41.2	35.2	18.6	23.4	12.0	28.4	42.9
負債総額	中国	▲ 27.3	20.6	1.2	120.6	33.4	146.2	42.8	188.1	▲ 33.4	▲ 15.7
	全国	▲ 5.7	102.6	3.1	182.4	79.6	20.1	44.5	▲ 3.5	▲ 44.4	▲ 50.9

(資料:(株)東京商工リサーチ)

倒産件数  
(件)

中国地域倒産件数・負債総額推移

負債総額  
(百万円)



(資料:(株)東京商工リサーチ)

※6 数値は公表元の修正にあわせて修正されることがある。

8. 設備投資 ～2024年度計画は前年度を上回る見込み～

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2024年6月)によると、2024年度の設備投資計画(含む土地投資額)は、製造業が前年度比22.4%、非製造業が同30.0%となり、全産業では同26.1%となっている。

◆企業短期経済観測調査結果(2024年6月調査)

設備投資額(含む土地投資額)

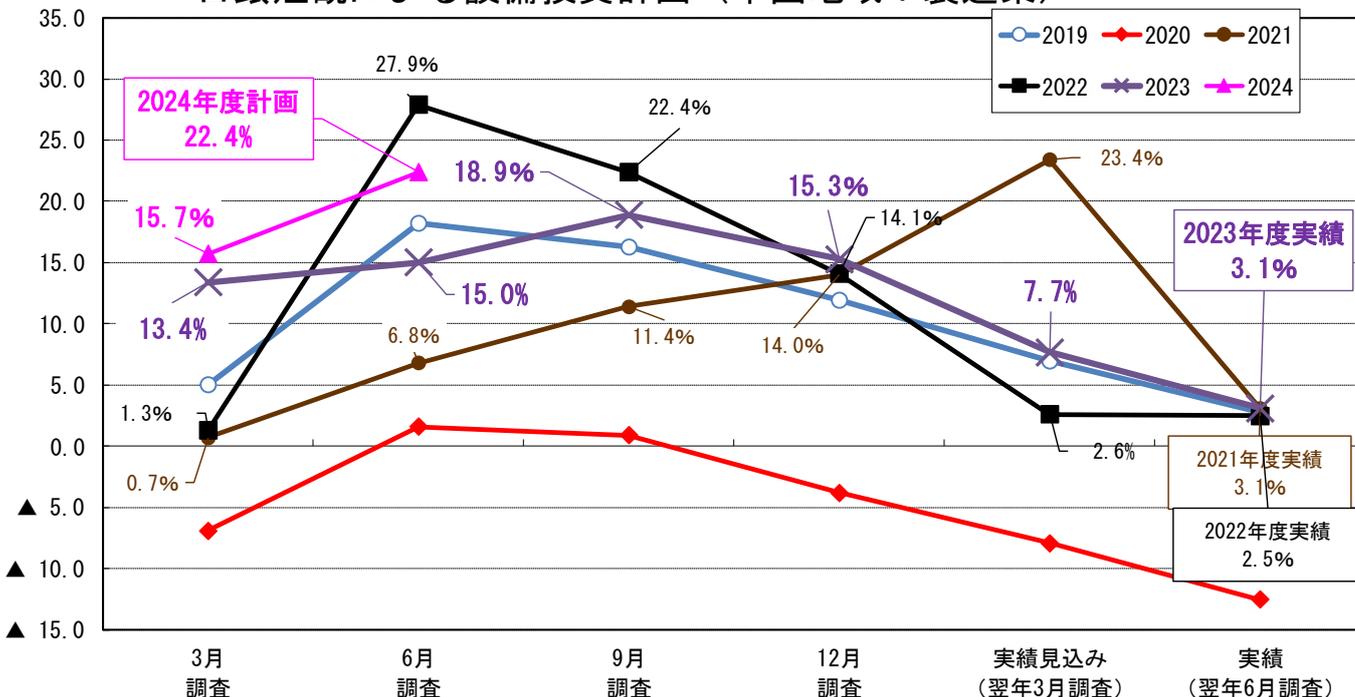
(前年度比・%)

		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画
中国	全産業	▲ 1.5	9.3	5.9	26.1
	製造業	3.1	2.5	3.1	22.4
	非製造業	▲ 7.1	18.3	8.9	30.0
全国	全産業	▲ 0.8	9.2	10.6	8.4
	製造業	1.1	9.0	6.7	17.2
	非製造業	▲ 1.9	9.3	12.8	3.5

(資料: 日本銀行、同広島支店)

(前年度比・%)

日銀短観による設備投資計画(中国地域: 製造業)



(注) 横軸に初回調査(3月調査)から実績が確定する翌年6月調査までの6調査回を取り、毎年度の設備投資計画について、調査回毎の前年比の足取り(修正パターン)をグラフで示したもの。